

陳 情 文 書 表 (令和8年6月29日定例会提出)

陳情第28号

陳情書

令和8年6月23日受理

陳情者 ●●●●●●●●●●●●●●●●
湯 浅 忠 雄

(陳情の趣旨)

道端孝治議員の職務怠慢についての陳情

(陳情の理由)

奈良市議会定例会において自民党の森田一成議員が議場で居眠りをしました。

その際、議長から進行をあずかっていた道端孝治副議長は森田議員に対して注意を促すことも、議会を一時休止して是正する措置を取ることもありませんでした。

道端議員は副議長として議会の秩序維持と品位保持の責任を負っているにもかかわらず、看過したことは職務怠慢であると指摘せざるを得ません。

さらに、道端議員は新人議員であるはずまりゅう議員に任せすぎているとの指摘もあります。先輩議員として当然果たすべき注意・指導を「当たり前のように」行えないのであれば、副議長の職責をはずまりゅう議員に委ねた方が、議会運営はより適切に行われるのではないかと考える市民も少なくありません。

加えて、過去の同様の事例（居眠り議員への対応失敗）から何ら反省・改善が見られず、今回も新たな居眠り議員に対して注意も議会停止も行わなかったことは、道端議員が職務に対する学習・成長を全くしていないことを示しています。

議会は市民の負託を受けた公的機関であり、議員個人の威信や派閥の体面を守る場ではありません。

副議長として最低限の職責を果たさない者は、その地位にとどまる資格を欠いていると言わざるを得ません。

(陳情事項)

1. 道端孝治議員に対し、議会運営上の職務怠慢について厳重注意を行うこと。
2. 副議長としての適格性について議会内で検討・審議を行い、必要に応じて交代を検討すること。
3. 今後、同様の事案が発生した場合の具体的な対応マニュアルを作成し、全議員に周知徹底すること。

以上、市民の代表として真摯に御審議いただきますようお願い申し上げます。